

よきおとずれ

カトリック釧路教会だより
第23号 聖母の被昇天(2022年8月15日)発行



天国をめざして

ラザロ・マウリリオ神父

8月15日、聖母マリアの被昇天のお喜びを申し上げます。

私が最近思うのは、亡くなった方が今、何をしているのか？ 帰天された人々が天国へ行っているのか？ イエス様はどうして、この世にこられたのか？

マリア様が様々な場所に出現してきたのは何故？ 人々が天国に導かれるためでしょう。

聖母マリアは、私たちの救いのために心配しておられます。私たちを助けるために次のことを教えて下さいました。すなわち祈りと犠牲を捧げること。

よく祈る、そして罪を償うために犠牲を捧げる(自分の罪ばかりではなく世界の人々の罪)。

ファティマの子ども達に倣って人々の救い(特に私たちの家族のために)毎日、ロザリオの祈りと犠牲を捧げることは良いことではありませんか。それによって人々と私たちも救われるでしょう。

また毎日、3回アヴェ・マリアを唱えましょ

う。1つは自分のため、1つは家族のため、1つは世界の人々のために、皆救われますように、イエス様に願いをこめて唱えることは助けになります。そして信者同士、信仰を持って分かち合うことも大切です。

“天にあげられた聖母マリアよ。

すべての人が、この短い生活を終えた時、あなたと共に天の父である神様を囲み永遠の楽しみに導かれるようお取次ぎを切に願います。”



今の柏林台教会

アシジのフランシスコ 齊藤 篤志

皆さん、こんにちは。

釧路の国の人達よ、十勝の国、柏林台の田舎から近況をお知らせします。

フランシスコ会とパリミッション会、日本人司祭と外国人司祭。なんと個性豊かなことか。さらに更に、このコロナ禍のご時世、信者さんの個性がもろに曝け出されているような気がします。いいんです、皆さん神様から貰った素敵な耳から情報を得て、神様から貰った素晴らしい脳みそで判断しているのです。



十勝では司祭が2名となり、基本的には集會祭儀が無くなり、主日はミサが行われています。毎日、カルメル会では朝のミサがあります。誰でも参加できます。これも帯広に住む信者にとって特別なお恵みだと思えます。柏林台教会では主日の典礼には誰でも参加できます。200名ほどの信者がいるはずなのに参加するのは40名弱です。来る人はいつも同じ。何処の教会でもそうでしょうね。

最近、ベトナム人をはじめ外国人の方が多くなりました。コロナのご時世、ミサ後のコミュニケーションが出来ないのが残念です。

いま、柏林台教会と帯広教会の統合が検討されています。大事なものは、誰のための、何のための統合なのかですね。

個人的な考えですが、新川教会のようにはなりたくありません。

御父は何をお望みか？旧約に答えが？

(2022年7月25日記)



アシジのフランシスコの平和への祈り

神よ、

わたしをあなたの平和の道具としてお使いください。

憎しみのあるところに愛を、

いさかいのあるところにゆるしを、

分裂のあるところに一致を、

疑惑のあるところに信仰を、

誤っているところに真理を、

絶望のあるところに希望を、

闇に光を、

悲しみのあるところに喜びをもたらすものとしてください。

慰められるよりは慰めることを、

理解されるよりは理解することを、

愛されるよりは愛することを、わたしが求めますように。

わたしたちは与えるから受け、ゆるすからゆるされ、

自分を捨てて死に、

永遠のいのちをいただくのですから。



6月19日、勝谷司教様の司式により、マルコ 小野寺奏太ちゃんの洗礼式が行われました。代父となられた祖父の和田真一様、お母さんの小野寺友子様からメッセージをいただいております。



マルコです、よろしく！

シモン・ペトロ 和田 真一

孫がようやく洗礼受けると聞き、その母親に、代父を探してくださいと神父様にお願いするよう指示しました。ややあってのお返事は「思い当たる方は皆さんご高齢。この際お祖父ちゃんに代父になってもらっては?」。我が所属教会を見ても状況は推して知るべしか、といった次第で代(祖)父を務めた次第です。



代父となれば洗礼名の名付け親にもなるうと考えました。変遷の激しい現代ですから新しい聖人がよいかと著書や評伝を読んだりしたのですが、ぴったりと来ない。結局は聖マルコ福音史家の名を頂くことにしました。私の霊名はシモン・ペトロ。マルコはペトロにかわいがられ、その説教を記したものが福音書になったと知ったからでした。

洗礼式の後、皆さんから「マルコちゃん」と声を掛けていただきました。これから先も、どうぞマルコをよろしくお願い致します。

(祖父・札幌)



洗礼の喜び

マリア 小野寺 友子

一歳を迎える前に無事に洗礼式を終える事が出来、ホッとしています。内藤神父様のご提案により父に代父をしてもらい、偶然にも勝谷司教様に授けていただき、緊張の中にも安心感が感じられる式でした。

神様のお導きの下、お恵みに触れ、自ら気付き歩んで行く子に成長して欲しいと願っています。どうぞよろしくお願い致します！



さしのべられた手

アンナ 浅井 紀子

わずかなくぼみを 残して

さしのべられた白い指を備えた

手の平

曲がったり 拗ねじけたり 踏まれ

たような枝

そこからやっと起き上がった

うつむく一輪 紫の

芯あかりには 希望にも似た黄色の

灯をともし

露をふくんだクレマチス

を摘み草の籠に

軒をくぐり 戸を引けば

かすかに香る ほうじ茶の

朝の散歩のあとで



ご復活カードの発送に寄せて

広報委員会

長いコロナ禍にあつて、私たちはミサの中止、分散ミサなど、かつて経験のなかった逆境の時を過ごさねばなりません。共同体として親しい交わりを持つ事ができない日々の中にあつても“共にいる”との強い思いを行動に表すべき時と考え広報委員会では、ご復活を前に、四旬節の教皇メッセージと共にご復活カードを全信者さんあてにお送りしました。

一人ひとりの顔や近況を思いながらの作業でしたが、とても嬉しい反響がありました。しばらく教会から離れていた姉妹が、再び教会へと目を向けられ、心を開いてくださったことです。心から“お帰りなさい、あなたを待っていました”と共に喜び、神への感謝を捧げたいと思います。

編集後記

ロシアとウクライナとの間での戦争が続いており、終結の見通しがたちません。第二次世界大戦終結から70年以上が経過し、いまもなおこのような戦争が起こってしまう世界情勢に、悲しみとともに危機感をおぼえるこの頃です。世界各地で続く紛争にも心を痛めます。平和への祈りを共に捧げていきましょう。(M.M)

カトリック釧路教会 <https://kushiro-catholic.cloud-line.com/>

〒085-0018 釧路市黒金町12丁目10

TEL 0154-22-5823 FAX 0154-22-5832

教会だより 編集：広報委員会